㊙ 指定統計第26号　農林業センサス
様　式　調　第　8　号
農　林　水　産　省

1990年
平成2年
林家以外の林業事業体

世界農林業センサス 調査票〔II〕

平成2年2月1日現在

（都府県用）　（慣行共有用）

調査の種類	都府県名	市区町村名	旧市区町村名	農業集落名	島または地域	調査区	事業体番号
3				0 0 0	0	0	

（名義区分）（該当に○印）

会社	社寺	共同（個人を含む）	団体組合	ムラ・旧市区町村	財産区
01	02	03	04	05	06

林業事業体名	
代表者氏名	
電話番号	―

〔判　定〕　最初に下記について判定する。（いずれかに該当するものを○印で囲む。）

ムラとは，組・小字・大字・区・旧市区町村などをいう。

65　0 0 0 0 0

1	山林からの収入や林産物を"ムラ"の費用や公共の事業に使うことがある。（数村入会の場合も同様の扱いとします。）	○ ×	この調査票で調査を続ける。
2	その山林は，昔からのしきたり〔入会慣行〕でもっている，利用している，利用させている。	○ ×	それぞれ該当の調査票で調査する。ただし農家と判定した場合は別途調査するので不用。
3	山林の権利者になる資格に，どこそこの"ムラ"に住んでいるものに限るという制限がある。	○ ×	

1　山林面積

〔○台帳地目ではなく，現況が山林であれば山林面積に含めてください。
○面積は台帳面積ではなく，実際の面積を記入してください。
○他の市区町村や県にある山林も含めてください。
○面積が大きくて6ケタを超えるときは左はしのマスだけに2字又は3字を記入してください。〕

(1)　所有山林面積・保有山林面積

		ha（町）（反）（畝）
所有山林	01	
貸付林	02	
他人に分収させている山林	03	
割地してやっている山林で割り替えする山林	04	
借入林〔割り替えされる割地を含む。〕	05	
他人の土地へ分収している山林	06	
保有山林(01−02−03−04+05+06)	07	
うち他人に管理をまかせているもの	08	

主なまかせ先（該当を一つ○で囲む。）

		森林組合	山守・山番	団体等	その他
09	00000	1	2	3	4

〈以下の項目は保有山林が1ha以上の事業体だけ記入してください。〉

(2)　過去10年間に保有山林を売却，貸付けなどしたことによって減少した山林面積

	ha（町）（反）（畝）
11	

(3)　保有山林のうちわけ

		ha（町）（反）（畝）
人工林面積 10年生以下（人工林の伐採跡地を含む。）	12	
11 ～ 30 年生	13	
31 ～ 40 年生	14	
41 年生以上	15	
計（12+13+14+15）	㋐	
天然林面積	㋑	
計（㋐+㋑）（=07）		

2　労働及び作業面積（過去1年間の保有山林の作業について）

〔所定の欄数を超える場合は，左はしのマスだけに2字又は3字を記入してください。〕

		直接雇用及び権利者の義務出役など（のべ人日）		実作業面積 ha（町）（反）（畝）	うち委託作業の面積割合
植林作業	31		32		
下刈りなど	33		34		
間伐	35		36		
主伐	37		38		

3　販売（過去1年間について）

販売した林産物
〔買山からの素材と栽培きのこ・林業用苗木を除く。〕

		用材 立木で	用材 素材で	ほだ木用原木	林野特産物	販売なし
41	0	1	1	1	1	1

（該当を○で囲む。）

4　権利者

(1)　この事業体の山林に対し，昔からのしきたりによる利用の権利がある権利者の数は

平．2年　61 000　　昭．55年（10年前）　62 000

(2)　新しく権利者となれるか

		なれる	条件付でなれる	なれない
63	00000	1	2	3

（該当を一つ○で囲む。）

(3)　権利者がよそへ転出するときの権利のゆくえ

		権利はなくなる	権利は残る
64	00000	1	2

（該当を一つ○で囲む。）

指導員
氏名　　㊞

SAMPLE